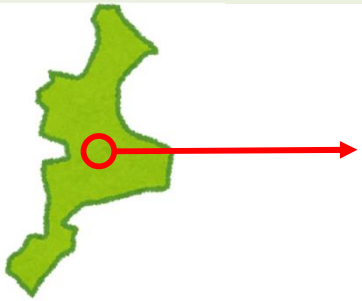
産地パワーアップ事業の取組事例（30年度：計画作成主体：松阪市農業再生協議会）（三重県）

取組の概要

対象品目　　：茶（産地面積53ha）
主な取組主体：（有）深緑茶房、
　　茶来まつさか（株）
成果目標　　：販売額の10%以上の増加
　　基準（H28年度）164,343千円
　　目標（R2年度）　180,777千円
導入施設等　：生産支援事業（機械リース）
　　摘採機、防除機



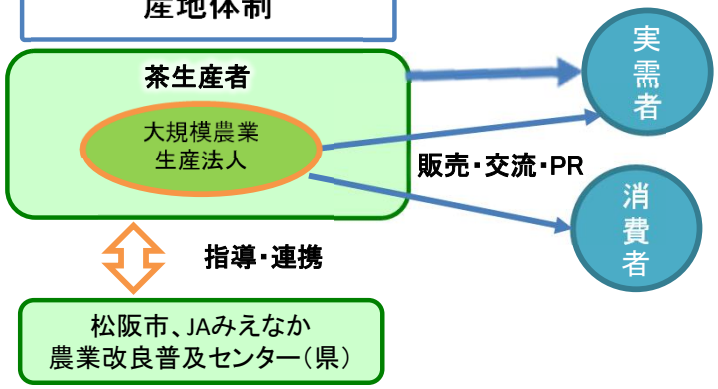
三重県
松阪市飯南町
粥見地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
近年、茶の販売価格の低迷が続く中、経営難や高齢化により担い手生産者への農地集積が進んでいるものの、産地の維持発展のためには、規模拡大に伴い、防除や摘採を適期に効率的に行う生産体制の確立が課題となっている。

【産地の体質強化に向けた方策】
収量増加・安定生産に向けて
①生産体制の効率化のため高性能な機械（摘採機、防除機）の導入
②普及センターによる技術指導、農協と連携した販路拡大、行政による補助事業の推進等、関係機関が一体となった支援体制の構築
により販売額を増加させ、産地の維持発展を図る。

産地体制

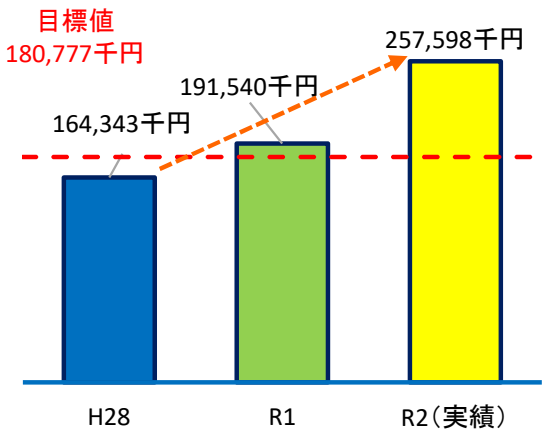


地域における独自の取組

〈主な取組〉
・乗用型摘採機・防除機等の高性能機械の活用による高い生産性
・栽培から加工・販売までの一貫経営
・実需者と消費者のニーズに応えた安全・安心の茶生産

取組成果

【事業実施による直接効果】
①効率的な防除による収量増加
②適期摘採による収量増加
③作業の効率化による生産面積拡大及び販売額増加

【事業実施による間接効果】
①作業の効率化による農家負担の軽減

販売額が57%増加
（達成率567%）